

市民サロン塾 第九回(平成26年10月27日(月)13:30~15:30)

人生講話 — 写経をかき、“無”になって

自分を見つめる

講師：横山 亮英 氏

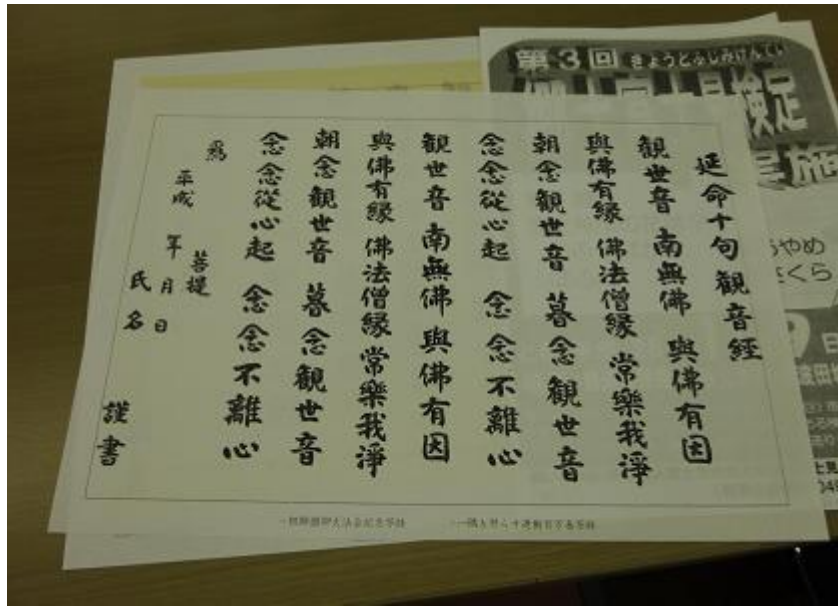


第9回サロン塾講座では、
お釈迦様と写経についての人生講話であった。
お釈迦様は、2,600年前にインドで仏教を説かれた一国の王子であり
35歳で「悟り」を開き、80歳で亡くなられたとのお話でした。
お釈迦様にも3つの不安「歳・病気・死」があったそうです。
現在でも人生の中においては
全く同じ悩みではないでしょうか？
2,600年前に、当時のお釈迦様が説かれていたことにびっくり！！
受講生も身近な講話に物音一つせず真剣に聞き入っていました。

○お釈迦様の台座はどうして蓮の花？

- 1 泥水の中から立ち上がる
- 2 人生の中で花を咲かせる
- 3 花の中に実「悟り」がある

講話の後、写経

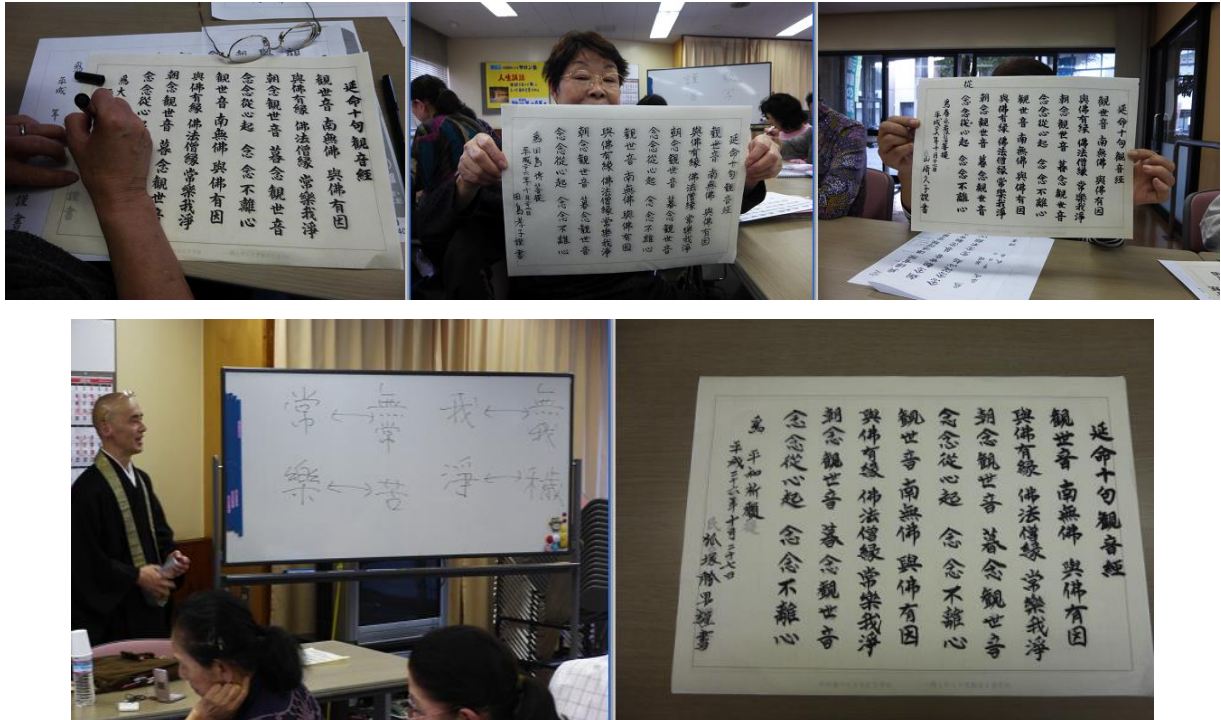


「延命十句 観音経」



<写経 風景>

写経を40分ほどかけ、
一字一字に気持ちを込めて書き上げた後
住職から読み方、意味等の説明をしていただいた。



写経している受講生の姿見て「感動を受けました」と言われ、
この企画を来期も是非続けていきたいものです。

富士見市民大学スタッフ
H26/10/27(月) 13:30~15:30
人生講話 — 写経をかき、“無”になって自分を見つめる
鶴瀬公民館 いきいき活動室
参加者 36名